

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

" TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2025年 8月会報 第440号

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Edward Ong (シンガポール)

主 題 信念、愛、行動 Faith, Love, Action

標 語 共に、より強く Together Stronger

アジア太平洋地域会長(AAP) 田上 正(熊本むさし)

主 題 信念と愛を持って行動しよう

Act now with faith and Love!

標 語 YMCA,ユースと共に地域社会に貢献しよう

Contribute to local society together with YMCA and Youth!

西日本区理事(RD) 中井信一(奈良)

主 題 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends
all over the world!!

標 語 あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

Stay with you. Never forget you.

六甲部長(DG) 柳 敏晴(神戸西)

主 題 温故知新 Visiting Old, Learning New!

標 語 六甲部にウェルビーイング!

We Rokkou-bu aims for wellbeing!

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 地域で見つかる!繋がる!ワイズ活動!

2025年8月例会

日 時: 2025年8月13(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー

風早寿郎・金岡幸宏

開会点鐘

会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」

全 員

聖書・祈祷

郡家 学

ゲスト・ビジター紹介

会長 多胡葉子

会 食

卓話 アソシエイト 垂水英司氏

「市民レベルの国際交流の大切さを思う」

委員会報告

YMCA報告

担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い

会長 多胡葉子

ニコニコ・ファンド

閉会点鐘

会長 多胡葉子

西日本区 8 月強調テーマ 戦略 2032

次世代リーダーの育成と若者の積極的な参加促進を目指して
地域社会に持続的でポジティブな変化をもたらし、地域
社会全体の生活の質を向上させよう

河合 博之 西日本区書記(京都トップス)

2025~2026 役 員	会長:多胡葉子 副会長:福田宏子 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘、風早寿郎 担当主事:橋本 唯 メネット連絡:小林貴美子 直前会長:長尾 亘
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS環境:金岡幸宏 EMC:福田宏子 国際・交流:岡野泰和 広報・ブリテン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:郡家 学、多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
国際交流主査	石田由美子

8月誕生日	2 多胡葉子 22 安行曉子 28 若林広子
7月例会実績	会員在籍数(A) 17 名 例会出席総数(B) 29 名 (内ズーム7名) (内訳) 会員(C) 13 名 メネット・アソシエイト 5名(内ズーム2名) ゲスト・ビジター 11名(内ズーム5名) メイクアップ(内数D) 0名 会員出席率 C+D/A 76.5% 例会充足率 B/A 170.6%
6月実績 にこにこ ファンド	ニコニコ 7,000 円 (累計 7,000 円) ファンド タカラムネ 1,000 円 (累計 1,000 円) 真菰茶 0 円 (累計 0 円) その他 0 円 (累計 0 円) 合 計 1,000 円 (累計 1,000 円)

今月の聖句

「そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。」
(マタイによる福音書 18 章 14 節)

随 想

平和への祈りを込める 8 月のとき。特に今年は敗戦から 80 年目を迎える節目の年でもある。このことについて思いを馳せるとき、いつも心に刻んでいる先人たちの言葉がある。

「何百人という人が死んでいる—しかし何と無意味な言葉だろう。／死んだのは、そしてこれからまだ死ぬのは、何万人ではない。一人一人が死んだのだ。一人一人の死が、何万人にのぼったのだ。何万と一人一人。この二つの数え方の間には、戦争と平和ほどの差異が、新聞記事と文学ほどの差がある。」
(堀田善衛「時間」)

「ジェノサイドのおそろしさは、一時に大量の人間が殺戮されることにあるのではない。そのなかに、ひとりひとりの死がないということが、私には恐ろしいのだ。／死においてただ数であるとき、それは絶望そのものである。人は死において、ひとりひとりその名を呼ばれなければならないものなのだ。」
(石原吉郎「確認されない死の中で」)

人の死、あるいは人間の存在そのものを単なる数値・統計としてしか見ないとき、それは「平和」から最も遠ざかった状態にあると堀田は言う。一人一人は、それぞれに「名」を呼ばれなければならない存在であると石原は語る。各地の戦争で失われている命を、またガザの地で飢えに苦しむ人たちの存在を、自分は「数」として眺めてはいないだろうか？ これらの言葉から強い問いかけを受けるのである。

「わたしはあなたの名を呼ぶ」(イザヤ 43:1)。神は一人一人の「名」を呼び、その人生に深く関わりを持つ存在であることをイザヤ書は示す。何より、神に名を呼ばれる一人一人は、決して失われてはならない、かけがえのない存在であるということを、イエスは譬えを用いて強調する。こうした聖書の言葉を深く心に刻みつつ、それぞれに果たすべき役割を果たしていきたいと願うのである。

甲東教会牧師 新堀真之

卓話、垂水英司氏のプロフィール

1940 年京都市生まれ。京都大学建築学科卒業後、神戸市役所に勤務、住宅、都市計画、まちづくり、建築行政に従事し、阪神・淡路大震災後は住宅局長として住宅復興にたずさわった。退職後は、神戸被災地市民交流会代表として、台湾との市民交流を推進した。(公社)兵庫県建築士会会長を務め、現在は顧問。



7 月 第 1 ・ 第 2 例会報

7 月 9 日多胡葉子新会長のキックオフ例会は長尾亘直前会長の開会点鐘で始まった。食事の後、まず役員交代式を行い新年度のクラブ役員の就任を確認した。

発会当時の宝塚クラブやその後三田クラブで往年のお働きと交流のある安行英文氏の再入会と熱心に出席を重ねて下さった垂水英司氏のアソシエイト入会式が西日本区 EMC 事業主任 久保田雅彦ワイズと六甲部 EMC 主査 北島伸三ワイズと六甲部部長 柳 敏晴ワイズ立会いのもと執り行われた。

この日は同時に六甲部部長とそのキャビネット 2 名の公式訪問日となっており、柳部長から今年度の活動方針を聞いた。柳部長はさすが YMCA のご出身で、主題は「温故知新 と Well-being」でウェルビーイングはただの happy の楽しい、嬉しい等の幸せ感情ではなく、やる気、思いやり、チャレンジ精神、理念や夢に賛同する心、繋がり、利他性等、心の良い状態を指すと説明され、今期はこの言葉を中心に六甲部の各クラブ、地域社会に広め取り組みたいと話された。

その後、YMCA 報告と誕生日のお祝いをし、多胡新会長の閉会点鐘で無事多彩なキックオフ例会を終えた。

Zoom 参加のアソシエイトのお二人、町田コスモスクラブの権藤さん、鹿児島クラブの中堀さん、松永さんご参加ありがとうございました。

青柳美知子、



7 月第 2 例会議事要旨

7 月第 2 例会は、7/16(水)18:30～20:50 西公民館会議室にて開催。多胡会長・石田・岡野・金岡・小林・郡家・武田・福田・長尾・若林各ワイズ 計 10 名が出席。

新会長のもとクラブ運営の課題を含め当面の運営を話し合った。

1. 8 月第 1 例会について

スピーカー:新入会アソシエイトの垂水 英司 さん

2. 9 月以降のスピーカー予定

- 9 月 神戸 YMCA 総主事 小澤 昌甲 氏
- 10 月 画家・ヴェネズエラ小児癌患者支援活動 小谷 孝子 氏
- 11 月 幸真會 二代目會主(和楽器奏者・日本民謡) 児玉 宝謹(よしのり)氏
- 12 月 クリスマス合同例会(日程・場所等未定)
- 1 月・2 月 未定、3 月 前原裕作氏(京都でコミュニティキッチン経営)

3. 評議会と懇親会 役割分担

評議会出席者は 5 名、欠席者は所定の委任状を提出する。懇親会は 53 名参加予定。受付:多胡・福田、オークション:岡野。

4. 第 31 回アジア太平洋地域大会

参加者:多胡・石田・岡野・福田・長尾

DBC(鹿児島・東京町田コスモス・京都ウエル各クラブ)お土産として「真菰茶・タカラムネセット」を準備する。

(次頁へ続く)

5. 各部会・周年行事、日程確認と出席者

- 8月24日(日) 大阪河内ワイズメンズクラブ50周年(大阪YMCA)…多胡・石田・福田
- 9月13日(土) 京都部部会(ホテルオークラ京都)
- 9月14日(日) 中西部部会(ホテルアベストクランテ高槻)
- 9月27日(土) 阪和部部会(大阪YMCA)
- 10月4日(土) 中部部会(とやま自遊館)
- 10月11日(土) 九州部部会(ホテルメルパルク熊本)
- 11月8日(土) 瀬戸山陰部部会(由志園)
- 11月15日(土) 六甲部部会(ホテルクラウンパレス神戸)

6. メーリングリストの確認

現在運用中の3つのコミュニケーション・ツール…①PC グーグル ML、②ワイズライン ML、③宝塚ワイズ写真クルー)の個々の機能についての意見交換と整理を行った。結果、③写真クルーは②に包含し7/31で廃止、且つ、②の名前を「宝塚 Ys クラブ ML」に改め、加入対象をワイズ・アソシエイトの全員に広げる。それにより①と②の加入対象は同一となり2本のツールが併用されることになるが、PC グーグルグループ MLは「公式情報」の受発信用、宝塚 Ys クラブ ML は Line のチャット機能を生かした自由な運用を目指す。但し、特定個人との私的な会話や共有価値のない情報は、できるだけ個人宛メールで行うことが望ましい。アソシエイトの Line への[招待]を順次進めるので、[招待]を了承の意思表示として何らかの「返信」をしてもらいたい。

7. ブリテン8月号の編集

- ・編集案に基づき寄稿分担を確認。新設2項目、「誕生日一言メッセージ」は17字～50字程度の散文形式で、「知ってよ！宝塚」は、宝塚クラブが年会費等で支援中の地域諸団体・サークルの活動状況をレポートしてもらう。全員参加型・地域共生型のブリテンを狙う。
- ・英文「ニュースレター」発行を準備中。

8その他

- ・弓狩匡純氏 ピースコンパス賛助会員(年会費8000円)の申込みを済ませた。
- ・ブリテン送付先を確認
紙ベース:理事、メール:理事・主任・DBC。六甲部は神戸YMCA内HPを活用・部内に徹底。
担当:福田⇒ブリテン若林に変更
- ・西日本区大会実行委員会からの最終報告(詳細はブリテンで)
- ・長尾直前会長ご苦労さん会:8月20日(水)17:30～ 第2例会に続き。場所:アンバス(予定)
以上 (若林成幸)

前期会費を8月中に納めて下さい。三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 普通 4585836 宝塚ワイズメンズクラブ

第28回西日本区大会実行委員会 評価会報告

このコーナー最後は2025年7月14日(月)18:30から開催された評価会の報告です。

610名の参加者を得て第28回西日本区大会は大成功に終わりました。7年前と比べて多くの部分で制約があり、前回以上に知恵を出し合う事を要求される実行委員会でした。まず単日開催であるため時間の大幅短縮、西日本区会員数減少の中参加者数の予測困難、そして物価高騰等、厳しいスタートを切りました。

プログラム委員会が一番時間がかかるバナーセレモニーを可能な限り時間短縮をし、会場委員会は効率的で無駄のない各会場使用を何度も見直し、登録委員会は登録状況をこまめにチェックして未登録クラブと連絡を取って少しずつ参加者を増やして行きました。結果としてかなりスリムになったにもかかわらず大会内容は大変充実して、多くのワイズ達からは大きな称賛を頂きました。

ウクライナバレエダンサーの踊りに感動の大きさが現れその直後の募金は444,502円に達し出演の Bogdan さんを通して神戸にあるウクライナ難民支援団体に寄付する事が出来ました。

大会会計は実行委員会始め関係者の努力により240万円の収支差額が出ましたので、大会ユニフォームは全額を大会経費とし、アピールキャラバン参加者には参加費用の一部を補填、その他の自己負担分を経費に計上としたうえで約120万円が残りました。それを日本YMCA 同盟、神戸YMCA、西日本区、ラオス有志の会に献金する事に決定しました。最終報告については間もなく大会会計から報告があります。みなさま、ありがとうございました。

実行委員会総務グループ 石田 由美子

2025～26 年度 六甲部 第一回評議会

7 月 19 日、神戸 YMCA で25～26 年度の第一回評議会が神戸 YMCA チャペルを会場に、出席者、委任状を合わせて定則数が満たされ開催された。

岡山泰典書記の司会で、柳 敏晴部長の開会宣言・点鐘、来賓として神戸 YMCA の小澤昌甲総主事の挨拶でスタートした。

まず、直前部長の小野勅紘ワイズの24～25年度事業実施報告、直前会計の山本常雄ワイズから会計報告がなされ、これを承認した。次いで柳 敏晴部長から活動方針の説明と会計担当の加茂周治ワイズから予算が提案された。

その後、各主査及び委員長の活動方針が発表され、すべて全員一致のもと承認された。

10分間の休憩ののち、各クラブの会長から活動方針・計画案が発表された。

最後は議案として小野勅紘ワイズから提出されていた2 議案に関し、提案者自らが第2議案を取り下げた上で、第1 議案のみが審議された。議案は「部則の全般的な見直しを今期中に役員会で協議する」という内容で、全会一致で部長に一任ということになった。岡山 泰典書記のスムーズな進行のもと予定の時間内に終わり、柳 敏晴部長の六甲部の活動がスタートとした。

多胡 葉子



六甲部懇親会

7 月 19 日、六甲部評議会を終えたあと、ニューミュンヘン神戸大使館に会場を移し、17 時より六甲部懇親会と西日本区大会お疲れさまで会が開催されました。ゲストや中西部からのビジターも加わり、総勢 55 名の参加がありました。石田直前交流事業主査の司会、柳 六甲部長のご挨拶で開会となり、西日本区大会へのご協力に感謝の言葉が述べられました。続いて小澤総主事よりご挨拶と乾杯の発声があり、お楽しみの美味しいビールとお料理の宴が始まりました。

本場ドイツのビアホールの雰囲気の中、ビールとお食事を楽しみながらみなさん楽しいお話に花が咲いていました。

今回は余興として、神戸 YMCA ワンキャンプ支援のためのチャリティーオークションが行われました。事前に有志の方々からご寄付いただいた品物の数々を岡野ワイズがオークショナーとして紹介し売り捌かれていきました。女性用高級インナーやスイス製高級腕時計、貴重なお酒や雑貨など、高額商品が次々と競り落とされていき、総額 9 万円を集めることができました。なんと会場のビアホールのスタッフの方もラオスビールをお買い上げに協力してくださいました。笑いの絶えない楽しい雰囲気の中、みなさんオークションを存分に楽しんでいただき、YMCA のキャンプのために多くの寄付が集まったことは大変喜ばしいことでした。集まった寄付金を柳部長より小澤総主事に贈呈したところ、総主事もびっくりしておられました。そして予定通りの時間に散会となりました。集ったみなさんの交流と親睦が深まったと同時に、ファンドレイジングとしても大成功の懇親会となりました。

品物をご寄付いただいたみなさま、そしてお買い上げいただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。六甲部の恒例にしよう！とのお声もあり、またの機会がありましたら、ぜひみなさんのご協力をお願いいたします。

国際・交流事業委員長 岡野泰和

(チャリティーファンドオークショナー)



～～身に着ける国際交流～～

カレッジでは夏の 2 週間日本語コースがあり、夏休みを利用して海外から来る留学生がいます。この 2 週間では日本語の勉強のほか、いろんな文化体験を予定しています。その一環として、浴衣に着替えて神戸港を散策するプログラムがあり、今年も宝塚ワイズの多胡さん、石原さんに協力していただきました。台湾の方 3 名、スウェーデンの方 1 名が好みの浴衣に身を包み、日本の夏を体験しました。蒸し暑い日でしたが、浴衣の体験ができて、みなさんとても喜んでいました。「貴重な経験」「以前から楽しみにしていました。浴衣を着るのは思ったより難しかったが、日本文化に触れることができました。」など、参加者からの声がありました。

着付けをしていただいた後、シティループバスでハーバーランドまで行き、神戸ポートタワーを見学しました。街の人や宿泊先のホテルの人にも「素敵だね！」と声かけられたと嬉しそうに話していました。いつも様々なところでご協力いただき、感謝いたします。ありがとうございます。今年の夏も、参加者のみなさんにとって、忘れられない貴重な一日になりました。

神戸 YMCA 担当主任 橋本 唯

7 月 18 日、今年も神戸 YMCA にて留学生の浴衣着付けがありました📍

去年は大勢でしたが、ちょうど旅行と重なったとかで、男性は台湾、スウェーデン、女性は台湾の方 2 人で計 4 人の参加。

「今年は楽チンね」と多胡葉子さんと喜んだもののスウェーデンの学生は背が高く、女性の一人は大柄で前身頃が収まらない😓 思わぬハプニングに冷や汗💦、背の高い彼には短いことで我慢してもらいましたが、布足らずはどうしようもなく安全ピンでとめたり、縫ったりと四苦八苦。

ズボンははいたままでスニーカーというニュースタイルで終了、暑い中街歩きにむかわれ、ホッとした次第です。

皆さま浴衣体験に大喜び、スウェーデンの学生は着替えずにそのままホテルに帰り、途中いろんな人に声を掛けられて楽しい思い出になったそうです。そう言えば私もベトナムの少数民族を訪ねた時、花嫁が被る帽子をかぶって歩いたら村の子供たちがついてきて楽しかった思い出があります。

民族衣装は市民交流の一つでまさに身に着ける国際交流と言えるでしょう。

願うならば、留学生達が自国へ帰っても自分自身で着られるように着付け指導ができたらと思いました。

アソシエイト 石原美生子



第21回市民クリスマス ポップン、コラボ演奏に挑戦

第21回市民クリスマスは12月13日(土)ベガホールでの開催が決まっていますが、今回はポップン・リンガーズをまじえたコラボ演奏に挑戦することを考えました。これまでのプログラムでは、ポップンだけで20分の舞台をつくってききましたが、今回は「クリスマス物語」の構成メンバーとして出演してもらい、マリアの受胎告知の場面で「アメージング・グレイス」を、博士達のイエスを訪問の場面で、弦楽アンサンブルと合唱団によるパッフェルベル作曲「カノン」にポップンのベルが加わるという展開となります。7月26日(土)午後、プラザコムに出向きポップンの小寺先生、荒木・田路さんと若林・多胡で、ポップンの心身の負担にならないような演出や練習の進め方などを率直に話し合いました。ポップンにとっては沢山の曲目の習熟に不安があるようですが、今回の提案にチャレンジしたいという強い意欲が勝っているようでした。ベル・オケ・合唱がそれぞれの役割を果たしつつ均整の取れた演奏ができるように頑張ることになりました。これこそ One Christmas ではないでしょうか。

市民クリスマスの全体構成は、第1部 ハレルヤ・宝塚厚生幼稚園児・保護者コーラス。第2部 クリスマス物語(昨年のような投影はなし)、第3部 「楽しい歌のプレゼント」、ポップン・ダカーポ・学生のフラ・合唱がそれぞれ1~2曲の演奏をすることにしています。

若林成幸

**秘っ得
宝塚!**

スペシャルオリンピックス(略称:SO) との出会い

アソシエイト 片西 順子

SO とは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SO は非営利活動で、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています。当ワイズメンズクラブやライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミスト等の社会奉仕団体並びに多くの企業にご協力を頂いています。

またスペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを”アスリート”と呼んでいます。

私が活動へのお誘いを受けたのは【2005 年 SO 冬季世界大会・長野】の前年でした。世界大会の成功を願い、SO への理解促進と認知を呼び掛ける 500 万人トーチランの熱気あふれる頃でした。以降 20 年余り、アスリートの側で見守り、声掛け、広報、競技会出場への手配等、できる範囲で手伝っています。コーチやパートナー(アスリートと共に競技参加)、事務スタッフなどサポート方法も様々です。この素晴らしい活動を多くの方に知って頂き温かなご支援をお願いできれば幸いです。



連載コーナーを作りました。お誕生日一言エッセー(17文字~50文字)、全員参加でよろしく。

8月の初めの誕生日は、夏の暑い盛りで夏休みの真っ最中。キャンプ場で、家族旅行での各地、そしてワイズで参加した国内外での開催地と各所で歳を重ねてきた。今年はアジア大会開催地の熊本で!

8/2 多胡葉子

今年の猛暑のせいで、鉢植えや地植えの花が沢山枯れました。人間は猛暑に負けず夏を乗り切りたいと願っています。

8/28 若林弘子